

2021 年度 第 17 回 国家資格キャリアコンサルタント試験

(キャリア協) 実技試験 (論述) 解答例 (中里)

※保育士を目指し、保育科で勉強をしている中、自身のキャリアビジョンについて不安になってしまった、という事例です。「キャリアビジョン」の中で、「お金(給与)」「勤務時間」という側面にも焦点を当てていることも見逃さず述べていくことが重要です。併せて、「保育士」の仕事内容にも注目しましょう。

今回の事例でのキーワードは、「何となく保育士を目指す事にした」「このまま保育士になるのはどうか」「資格」「給与が低い」「大変そうな仕事」「自信がない」「向いている」などです。

Zさんは保育実習を通して、なかなか鋭い視点で気づきを得ましたね。「キャリアビジョン」には二側面あります。一つは、「どのような仕事をしたいか」。もう一つは、「どのような働き方をしたいか」ということです。どのような仕事とは、仕事の種類です。技術職、事務職、販売職、製造職…など。働き方とは、勤務時間や給与体系、会社の規模や福利厚生などのフレームの部分です。多少の偏りはあるにせよ、どちらか片方に大きく不満があると、仕事は長く続きませんね。Zさんがここで立ち止まって考えることは、とても意味あることだと思います。この点を考慮しながら解答していきます。

【設問 1】 事例記録の中の「相談の概要」(略 A) の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。(10 点) 2 行

保育科で保育士を目指し勉強しているが、子どもが好きなだけで続けるには大変そうだし、勤務時間や給与の面でも思っていた仕事とは違うように思い、このまま保育士になるのがいかが分からなくなってきた。

【設問 2】 事例記録の下線 B について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で質問を行ったと考えるかを記述せよ。(10 点) 2 行

「何となく保育士を目指した」という相談者の不明確なキャリアビジョンにおいて、理想と現実のギャップが生じていることに対して焦点を当てることで、自身のキャリアビジョンを明確化するよう促すため。

【設問 3】 あなたが考える相談者の問題 (①) とその根拠 (②) について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。(20 点) 2x10 点 2 行・3 行

① **問題** 思い描いていた仕事と、実際の仕事との齟齬により、キャリアビジョンが不明確になっていること。また、誰にも相談せず、「大変そう」「～みたい」という思い込みでモチベーションが下がっていること。

- ② **その根拠** 「何となく保育士を目指した」というようにキャリアビジョンが不明確である上に、保育士は「大変そう」「給与も低いという」など、姉の事務職は「自由な感じ」「充実しているみたい」など、見聞きした情報から推測し、保育士は向いていないのではないかと思ひ込み、不安になっていること。

【設問4】 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。(10点) 6行

「保育士」を目指し、資格取得に向けて勉強してきたこと、そして今、「保育士」や将来の仕事について再考し、模索している姿勢をまずは支持する。その上で、「保育士」としての働き方や、勤務時間、給与状況等について、大学の保育士の先輩や、大学のキャリアセンターなどに相談してみるよう促す。併せて、保育士と企業での働き方について、姉に相談しながらそれぞれメリットデメリットについて書き出し、比較し、どちらの働き方が自身のキャリアビジョンに近いかについて考えてみるよう提案する。そうすることで、自身のキャリアビジョンが明確になり、資格取得という目的に向けて前向きに学んでいけるよう支援していく。